

令和3年度 川根中学校区地域包括支援センター事業実施評価票

実施方針	目標	具体的な取り組み	実績	評価		課題・今後の方向性	
				取組毎の評価	方針毎の評価		
必須項目	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができような体制を整えます。	協力事業所や民生委員等と顔の見える関係づくりに努め、課題を抱える高齢者の早期発見、情報の共有化を図る。	①川根地区見守りネットワーク連絡会：年1回 ②民生委員と包括の情報交換会：年1回 ③民生委員児童委員協議会定例会：月1回	①②コロナの影響で中止。③毎月、定例会に出席し情報交換している。	△	△	コロナの影響で中止になっているが、民生委員や地域の団体と連携を取り情報の共有化を図りたい。
		高齢者を地域で支える体制づくり	しまとれの継続支援と新規立ち上げ支援を行う。また、社会福祉協議会と連携し、歩いて集まるのが困難な地域に居住する住民もしまとれに参加できるように働きかける。	①継続支援：7ヶ所（月1回、支援に出向く） ②新規立ち上げ：1ヶ所（身成地区） ③送迎付きしまとれ：山間地1～2ヶ所（地区の選定、地域住民や事業所との連携・相談、しまとれ支援を行う）	①継続支援9ヶ所。②身成地区新規2ヶ所立ち上げ。③塩本地区住民を対象に送迎付きしまとれ実施。	◎	
	地域住民が主体的に介護予防に取り組めるよう支援します。	地域活動が少ない地区へ出向き、住民が主体となって取り組める介護予防活動について検討する。	塩本地区懇談会：年1回	懇談会を開催し送迎付きしまとれの開催に繋がった。	○	△	送迎付きしまとれ終了後も地域で活動が続けられるように、参加者と話し合いを行う。
		老人会や居場所等で介護予防普及啓発講座を開催し、住民の介護予防の意識を高める。	介護予防普及啓発講座：年20回 内容：高齢期の病気、認知症予防、口腔ケア、低栄養予防、熱中症予防、感染症予防、介護保険制度、消費者被害、介護予防体操（コグニサイズ）等	15回実施。コロナの影響がありキャンセルが続いた。	△		呼びかけを行い、講座の予約が入ってきた。目標回数が達成するようにしたい。
認知症施策の推進	認知症の理解を深めるための周知・啓発活動を行い、多世代で支え合う地域づくりを推進します。	様々な世代に認知症に対する正しい知識と理解を広げ、地域の担い手づくりに取り組む。	①認知症サポーター養成講座：年4回（小中学生等、幅広い年齢層へ働きかけていく） ②認知症予防講座：年3回	①世間しまとれ、川根小4年生、原・八坂しまとれを対象に養成講座を実施。②認知症予防の体操、脳トレ等実施している。	△		1ヶ所開催予定はあるがコロナの影響でどう変わるかわからないため、呼びかけを行っていく。
		認知症の方を地域で支える体制づくりをチームオレンジ、認知症キャラバンメイト、認知症サポーターと共に行う。	①認知症キャラバンメイト連絡会：年1回 ②チームオレンジちやのみ定例会：月1回 ③チームオレンジの新規立ち上げ：1ヶ所	①開催した。新規メンバー1人加入。②情報交換ができていく。③受け入れ先は決まった。	△	△	県の事業である「認知症の人をみんなで支える地域づくり推進事業」が落ち着いたら、チームオレンジの立ち上げをしていく。
		認知症カフェへ参加し、認知症に関する周知活動及び相談支援を行う。	駅前お茶飲み会：月1回	毎月、支援している。コロナ禍であるため少人数で行っている。	○		コロナが収束した時は周知し参加を呼び掛けていきたい。
選択項目	多職種、多機関とのネットワーク構築	高齢者支援に携わる専門職同士の相互理解、連携体制を構築します。	川根地区医療・介護多職種連携連絡会：年3回 テーマ：①薬に関すること、②外部講師を招いた勉強会、③介護に関すること 参加団体：医療機関(4)、調剤薬局(3)、製薬会社(1)、整骨院治療院(2)、居宅介護支援事業所(4)、通所介護事業所(4)、訪問介護事業所(2)、短期入所介護事業所(1)、特養(1)、小規模多機能型居宅介護(1)、グループホーム(1)	連絡会を①②の内容で行った。3回目は3月中を予定している。	○	○	参加できない事業所とも密に情報交換ができるように体制を整えたい。
	介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	介護支援専門員との連携強化、自立支援・重度化防止に向けたケアマネシメントが行えるよう支援します。	地区の介護支援専門員を対象とした連絡会を企画・開催する。	金谷・川根地区ケアマネ連絡会：年3回 テーマ：①権利擁護、②医療連携、③自立支援型地域ケア会議	○	○	ケアマネが自立支援に向けた視点が得られるような内容を提供したい。
	センターの認知度を高めるための周知活動	住民にとって身近な相談窓口となるよう積極的に地域へ出向き周知活動を行います。	高齢者のためのセンターのチラシを公共施設等に設置、老人会や各種団体へ配布する。 川根小学校の児童に作成してもらった高齢者あんしんセンターのPRポスターを幅広い年代の方が目に付く場所に掲示する。	集会所、居場所、老人会、高齢者学級、しまとれ実施団体、ボランティア団体等15ヶ所へ設置・配布 3月末までに集会所、商店、金融機関、医療機関等10ヶ所に掲示	講座開催時には配布している。 川根小4年生にポスターを作製してくれた。	○	○